

こころ

第 38 号 帆秋病院だより 令和 7 年 4 月

令和 7 年度 医療法人至誠会帆秋病院・介護老人保健施設健寿荘合同入社式を執り行いました

春の暖かさが感じられる頃となりました。この度、令和 7 年 4 月 1 日（火）に、令和 7 年度 医療法人至誠会帆秋病院・介護老人保健施設健寿荘 合同入社式を執り行い、帆秋病院では医師 3 名、看護師 5 名、准看護師 1 名、看護助手 2 名、精神保健福祉士 1 名、薬剤事務員 1 名、計 13 名の職員が新たに入社いたしました。

はじめに理事長より、「当院の理念は誠実・信愛・奉仕です。哲学者カントが人とコミュニケーションをする上で知性・感情・意志の知情意が大事であると提唱していることからきています。少子化で働き手がない時代に当法人に多くの新入職員が入社したことを嬉しく思っています。ぜひ、しっかり勉強していただいて患者さんや入所者の方へより一層誠実な対応を心がけていただければと思います。皆さんよろしくお願いします。」と訓示を述べました。新入職員代表

のことばでは、「理事長先生より入社許可を頂いた私たちは、本日この式に出席させて頂き大変嬉しく思っています。これから至誠会の理念であります誠実・信愛・奉仕を一日も早く叶えられるよう努力を重ねて参ります」と平林礼奈医師が述べました。13 名の新入職員とともに、本年度もさらに精神科の地域医療に貢献できるよう、職員一同精進してまいりたい所存です。本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。



理
念

・誠 実
・信 愛
・奉 仕

基
本
方
針

- ・私たちは、患者さんの人格と意思を尊重し、思いやりのある心をもって接遇し、よりよい医療を提供いたします。
- ・私たちは、安全で安心と満足の得られる医療を提供いたします。
- ・私たちは、常に自己研鑽に励み医療の向上を目指します。
- ・私たちは、病院の運営に協力いたします。
- ・私たちは、患者さんのプライバシーを保護します。

R7.3.22 南海トラフ巨大地震を想定したトリアージや患者搬送などの災害訓練を実施

去る令和7年3月22日土曜日、大分県精神科病院協会主催で帆秋病院体育館にて南海トラフ巨大地震を想定した訓練を行いました。県内で2カ所指定されている災害拠点精神科病院（湊野病院・帆秋病院）をはじめ、県内精神科病院、県障害福祉課、大分県医師会看護専門学校学生等約60名の皆さんと、県内精神科病院等から約30名の見学者も来院され、合計100名近くの方が参加された盛大なものになりました。

また、外部からはDPATインストラクターの平位氏をお招きし、アドバイス等いただきました。



訓練の内容は、災害時の被災者トリアージ及び被災病院からの移送訓練です。当日は大きな事故等もなく無事に終わることができましたが、物品や人員の配置、情報伝達の流れ等の課題も見えました。今回の訓練は大分県精神科病院主催で、県内の精神科関係者が一堂に会する初の試みでした。このような訓練を継続して行う事で皆さんの防災意識の向上や医療機関と行政機関の連携強化につながればと思います。



病院までのアクセス

- バス：元町経由「元町」下車
- 車：大分駅前から国道10号線を宮崎方面へ向かって約10分
- JR：大分駅からタクシーで約10分



発行月：令和7年2月

住所：〒870-0843

大分市大字大分 4772-2

(元町6組)



医療法人至誠会

帆秋病院

精神科・心療内科

内科・歯科

TEL：097-543-2366

FAX：097-543-0664

<http://www.hoaki.jp/>

